

平成29年度学校評価（年間評価）

前年度評価結果の概要	<p>1. 指導教諭の授業見学をはじめ校内授業研究会を実施し、教職員の授業力・指導力の向上・授業改善につなげた。今後も授業改善に取り組んでいく。</p> <p>2. 模試反省会や面接指導など個に応じた進路指導を展開できている。3年間を見通した進路指導の取り組みを更に充実させていく。</p> <p>3. 徹底したスクールマナー教育の結果、来校者や保護者から高い評価を得ている。校外でのマナーについて継続指導していきたい。</p> <p>4. 生徒会が主体となって取り組む全校集会が学校活性化につながっている。全校集会における生徒の運営率をさらに高めていく。</p>
------------	--

学校教育目標	中期目標	重点目標
知性を磨き、人格を高め、体を鍛えて、21世紀をたくましく生き抜く人間を育成する	1. 確かな学力の育成 2. 豊かな人間性育成 3. 地域や保護者と連携した魅力ある学校づくり	1. 学力向上と進路目標の達成 2. 気品と逞しさのある生徒の育成 3. 地域や保護者と連携した学校づくり

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	P L S L	検証結果(自己評価)			学校関係者評価
					評価	重点的取組・取組指標の実践	今後の改善策	
1. 学力向上と進路目標の達成	①授業が「わかる」生徒70%以上(生徒アンケート) ②授業で「活動したり考えたりする機会がかなりある」生徒70%以上(生徒アンケート)	⑦生徒を活動させ思考力を活性化する授業の構築	④教科会議での教科指導、進捗等についての情報共有(月2回以上) ⑤同一教科、他教科との互見授業(それぞれ年1回以上) ⑥授業でのICTの活用やグループワーク等を含むアクティブ・ラーニングの実施(授業の70%以上) ⑦指導教諭授業の参観(全職員1回以上)	P L 教務主任 S L 学年主任 教科主任	3	④月2回以上の教科会議実施率66% ⑤同一教科内互見授業94%、他教科互見授業42%実施 ⑥授業で「活動したり考えたりする機会がかなりある」生徒63%。 ⑦指導教諭授業の参観2学期実施20名。北九州予備校講師による特別講座(7/15,16)観察13名。全員参観完了	④月2回以上の教科会議の継続 ⑤互見授業実施期間の検討 ⑥アクティブ・ラーニングの継続 ⑦授業参観の内容について教科会議で還流報告	
	③平日平均家庭学習時間150分以上の生徒(学習時間調査)(考査直前) 1年 60% 2年 60% 3年 90% (考査間) 1年 40% 2年 50% 3年 75%	④生徒ひとりひとりの生活習慣の改善と家庭学習時間の確保	⑥課題量の調査と教科間バランス調整(各学期1回) ⑦考査間および考査直前の学習時間調査 ⑧教務通信を発行(月1回) ⑨学習時間90分を下回る生徒の面談	P L 教務主任 S L 学年主任 教科主任	3	⑥課題量調査と教科間バランス調整、各学年で5月実施、2学期中に1、2年実施。教務委員会で継続的に協議 ⑦考査直前(5/9~15,11/21~27)、考査間(6/10~16,9/19~25,10/23~29,1/29~2/4)の計5回学習時間調査実施 ⑧教務だよりを2号発行(4/10,6/2) ⑨成績不振者の指導実施(7/21)(12/22)	⑥課題量調査と教科間バランス調整は次年度も継続	
	④卒業時の進路決定率100% ⑤「小論文・面接指導、教科個別指導など個別の進路指導が行われている」70%以上(生徒アンケート)	⑦生徒の進路目標達成に必要な学力の把握と個に応じた進路指導の展開 ⑧小論文・面接指導の充実	①新旧引継ぎ(4月) ②1年生・2年生は模試反省会を2回以上、進路希望調査を2回以上 ③3年生は個別進路検討会議を2回以上、進路希望調査を2回以上 ④対外模試の結果や学習時間調査などのデータに基づいた面接指導(年2回以上) ⑤推薦入試に対する全職員による小論文指導・面接指導 ⑥小論文指導力向上に係る教員セミナーや研修会参加(各学年2名以上)	P L 進路指導主任 S L 学年主任	3	①新旧引継ぎ4/11に実施。各学年における情報共有 ②模試反省会(1年 8/22 12/8 2/22)(2年 8/25 12/21 3/2)実施。進路希望調査2回(4月1月)実施 ③3年模試反省会(6/29 10/13)実施。個別進路検討会議(7/6,7 11/29,30 1/19)進路希望調査(4月)実施 ④個人面談 4月(全学年)実施。 3年7月~8月 12月、1月に個別進路検討会議をふまえて三者面談実施 ⑤3年生向け 面接 マナー講座(7/14)の職員への公開 推薦入試に対する小論文・面接指導生徒のべ140人を職員30名で指導 ⑥7/24 2学期以降の小論文指導・面接指導に向けての小論文研修(全職員対象)、7/26 学研小論文研修会3名参加。10/23進路講演会参加(全職員) 小論文講座、小論文模試(1年12月 2年1月)	①~⑧継続実施。生徒の表現力を高め、進路志望達成をするための組織的な取組継続	
2. 気品と逞しさのある生徒の育成	①スクールマナー(身だしなみ・挨拶・交通マナー等)達成度90%以上(生徒アンケート)	⑦スクールマナー教育の徹底による社会性や規範意識の向上・醸成	④学校周辺通学危険箇所での登校指導(月2回、教職員・生徒会・風紀交通委員・PTA) ⑤交通安全教室 ⑥効果的な防災避難訓練(年2回) ⑦各学年集会でのスクールマナーに関する講話(1回以上) ⑧規範意識の向上を目的とした生徒指導だよりの発行	P L 生徒指導主任 S L 学年主任	3	④学校周辺通学危険箇所での登校指導17回実施 ⑤中津警察署交通課長による交通安全教室(5/24に実施)(自転車事故4件) ⑥効果的な防災避難訓練(6/29地震・津波を想定した防災避難訓練、1/24実践的な抜き打ち訓練を実施) ⑦各学年集会でのスクールマナーに関する講話(全学年で実施) ⑧規範意識の向上を目的とした生徒指導だよりを発行	④実施予告徹底のためスプレッドシート等を利用 ⑤交通マナー指導継続(風紀交通委員会と連携してヒヤリハット地図を作成) ⑥集会でのスクールマナー講話を次年度も順次実施 ⑦生徒指導より・環境美化発行の「美力」併せて月1回の発行	
	②「生徒会員が学校行事に積極的に参加した」80%以上(生徒アンケート) ③部活動加入率80%以上	④生徒の自主的な計画・実践による充実した委員会活動と生徒会行事 ⑦部活動加入率向上等を通じた学校力向上	⑥体験入部(4月)参加率100%と加入率向上につながる取組 ⑦年間行事計画に基づいた生徒会・委員会活動 ⑧ボランティア委員会主導による「ごみゼロ運動」(2回)	P L 特別活動主任 S L 学年主任	3	⑥部活動加入率向上のための、部活動体験入部を2日間実施。(参加率100%) 高校県体においては昨年を上回る成績(バスケットボール女子、弓道女子個人優勝等)→女子バスケ全国ベスト16 ⑦年間行事計画に基づき活動を実施。全校集会と壮行会の内容をスリム化して時間短縮。 →指導部(服装頭髪検査)とタイアップ。 ⑧7/23「ごみゼロ運動」1回目 2/8「ごみゼロ運動」2回目	⑥部活動紹介の充実と、部の活動の見える化。質の高い部活動運営→部活動生集会の実施・休日の設定等 ⑦定例会は月1回のペースで継続。全校集会や壮行会の実施方法を改善するとともに、表彰伝達の内容を精選	
	④読書活動の促進、読書感想文の提出率100%	⑤読書への意欲関心を高める取組	①年間継続した朝読書 ②国語科・学年部と連携を図った校内読書感想文コンクール(年2回) ③「図書館だより」の発行(月1回以上)	P L 図書館主任 S L 学年主任	3	①朝読書を継続実施。生徒アンケートによると朝読書の時間を好き・どちらかといえば好きという生徒が85%。 ②春季および夏季休業中校内読書感想文コンクールともに提出率100%で実施済。校内表彰を実施 ③年間第12号まで発行	①朝読書の充実のために、各学年とも監督2名体制で継続。全校一斉で新聞記事を読ませる取組継続 ②課題図書の出題等現在の取り組みを継続 ③現行のペースで発行継続	
3. 地域や保護者と連携した学校づくり	①PTA総会への参加率80%以上	⑦各種PTA活動を通じた学校と家庭の連携と保護者の学校づくりへの参画意識の高揚	④PTA総会と予備集会を通じた学校の理解の深化 ⑤委員会(執行部・専門部)等年6回以上開催による各種行事の充実 ⑥「ごみゼロ運動」への協力(1回)	P L 総務主任 S L 学年主任	3	④PTA総会4/29(土)、予備集会5/2(火)参加率88%(総会57%・予備集会31%) ⑤3/21・4/19・4/24総会準備会議(執行部・役員) 7/14(金)おやじ・おふくろの会(保護者、教職員参加60名) 8/6(日)県高P連県北地区指導者研修会(保護者、教職員参加18名) 9/6(水)北高祭(保護者参加40名) 10/20(金)PTA研修大学訪問(保護者、生徒参加29名) 2/2(金)3年生激励会「ぜんざい会」 各専門部会議等実施・PTA新聞「飛翔」2回発行(7月・12月) ⑦7/23(日)「ごみゼロ運動」へ協力(保護者参加者16名)	④参加率向上の取組を協議、次年度の総会日程は2月中旬に決定 ⑤PTAとの連携の継続 ⑥「ごみゼロ運動」への継続的な協力	
	②各学年の公開人権HRA実施率100%	④各学年の職員による事前学習会と全職員の共通理解の下に取り組む人権HRA	⑤各学年の公開人権HRA(年1回以上) ⑥公開人権HRAの授業研究を含めた教職員の研修(3回以上)	P L 人権教育主任 S L 学年主任	3	⑦7/19(水)7限、3年校内公開人権HRA実施。「公開授業を含めて人権学習に積極的に取り組んでいる。」(7月実施生徒アンケート)「そう思う、どちらかというと思う」86%。 10/25(水)1,2年公開人権HRA実施(藤本指導主事、中津市教育委員会2名、鶴居小1名、中津東1名、東九州龍谷2名、本校全職員参観) ⑧第1回7/21(金)(人権平和学習講演会:日高雛子さん)、第2回9/26(火)(同和問題について:藤本篤司指導主事) 第3回10/25(水)(1,2年公開人権HRA振り返り研修) 公開人権HRAへの参加の他に、一人一研修として校外研修への参加(県外2名、大分県内13名、中津地区13名)	⑧相手の気持ちを思いやり、尊重し合うことの意義や重要性と人権意識の日常化の指導 ⑨同和問題に関する教職員研修を行事日程に組み入れることで、毎年実施	
	③不登校及び不登校傾向にある生徒に対する100%の組織的対応	⑦HR担任や保護者との連携の強化による教育相談体制の充実	⑧分掌会議での欠課・欠席の多い生徒等に関する情報の収集と共有(月1回以上) ⑨定期的な学年との生徒情報交換と必要に応じたケース会議等 ⑩「保健だより」や「学年通信」を通じた保護者向けの情報発信(学期に1回以上)	P L 保健教育相談主任 S L 学年主任	3	⑧生徒情報交換の分掌会議10回、SCとの情報交換5回実施 ⑨困りを抱えた1年女2名、3年男1名について、学年との情報交換及び3名の保護者面談に参加して協議を実施 不登校傾向の生徒について、SSWを3回招聘してケース会議を踏まえた家庭訪問、保護者との情報交換を実施 5/19(金)合理的配慮を提供している生徒について職員への周知、 7/21(金)保護者との定期協議を実施。 5/24(水)アレルギー疾患への緊急対応として、エビベンの職員研修を実施 ⑩「保健だより」7号発行、熱中症・風しん・インフルエンザ対策等を啓発	⑧分掌会議での月1回の情報共有を継続実施。 学年と連携して、本校のSCに加えて県配置のSC、SSWの活用を企図 ⑨「不登校対策プラン」の職員への周知と学年との連携を企図 別室登校実績を検証し、学年や分掌の負担、保護者との連携を検討 合理的配慮を提供生徒に対する定期協議を継続 アレルギー疾患等在籍生徒の個別の課題に対する職員研修、保護者との連携を継続 ⑩保健だより」を通じた保護者への啓発継続	